

第2回江南市地域福祉計画策定部会 記録

日時 平成28年10月25日(火)

午後1時30分～

場所 市役所 3階 第4委員会室

出席者：貝瀬部会長、武市委員、浅野委員（矢橋委員代理）、岩井委員、向井委員、土谷委員、平野委員、坪内委員（稲波委員代理）、八橋委員

事務局：大池、福田（社協）、伊藤（社協）、宮本（社協）、土屋（ジャパン総研）

欠席者：滝委員、千田委員、山田委員

1. 江南市地域福祉の区域の考え方について

<説明：土屋（ジャパン総研）>

<意見・質問>

- ・社協の地域福祉活動計画に圏域の考え方や事例はあるか。
→現在の計画には、圏域の考え方はない。
- ・門弟山小学校区が、3つの中学校に分かれるが問題はないか。
→現時点では拠点整備や組織化をする前提ではなく、圏域として地域課題の把握や整理の点で考えている。老人クラブなど小学校区単位で活動している組織もあるが、今ある組織の活動を変えてもらう予定はないので、特に問題はないと考えている。区長や民生委員も中学校区で何かある時は、これまでも分かれて参加しているので問題はない。
- ・中学校区単位で活動している組織として、コミュニティスクールがあるが、その他にもあるか。
→現時点ではない。
- ・「区・町内会は130地区」とあるが、区としては70程度。町総代レベルの範囲（地域）を加えると130ぐらいの数になるが、10人ぐらいの少ない地域もある。
- ・市のハード面の計画として、都市計画マスタープラン、立地適正化計画を今後策定予定。コンパクトシティの考え方で整備計画等の考え方が示される可能性がある一方で、整合性を図るか異なるのであればハードとソフトで考え方が違う等の説明ができるようにしておいたほうがよい。
- ・総合計画には、地区計画等圏域の考え方はあるか。
→圏域の考え方はない。
- ・地域包括支援センターの圏域の現状はどうか。
→業務量の偏りもあり、一部の区域（江森・山尻区・般若区・中般若区等）の重なりがある。

- ・医療は、市内圏域はないが、広域（医師会、保健所単位等）での圏域がある。
- ・自主防災会は区単位での活動となっている。

2. 市民懇談会について

<説明：大池、土屋（ジャパン総研）>

<意見・質問>

- ・開催時間帯が全体会と2回目が異なるため、ターゲット層の想定の考え方はどうか。
→多様な参加者層を考慮し、多くの方が参加できる日程を検討した。
- ・公共交通会議を開催したときに、駅東での開催がなかったという意見があった。
→古知野東公民館の案もあったが、中学校区単位なので老人福祉センターとした。
- ・行政職員がファシリテーターを行うと、意見要望が多くなる不安がある。
- ・中学校区に圏域を分けても、同じような地域課題が出る場合があるが、どうか。
→同じ課題としても、解決策は圏域によって異なるため問題ないと考えている。
- ・2回目のワークショップ時に、人物像設定が極端すぎると行政しかできなくなってしまう。
→初回が終わった時に、事務局で人物設定を検討していく。

<事務局からのお願い>

- ・地域福祉懇談会は、初回の1月22日（日）は部会全委員の参加をお願いし、2回目（中学校区単位）は委員の皆さんの仕事の都合や希望を聞きながら、担当地域や日程調整を行います。
- ・地域福祉懇談会の場で、部会委員は社協職員や社協の策定部会委員と一緒にグループでの取り回し（ファシリテーター）をお願いします。

3. その他

- ・社協の活動計画の部会を11月4日（金）に開催予定。
- ・地域福祉計画策定会議を11月11日（金）に開催し、それぞれの部会報告等を行う。
- ・第3回策定部会は、当初2月開催を予定していたが、1月中旬に実施予定とし、地域福祉懇談会の確認やアンケート集計結果報告を行う。

午後2時40分終了

第2回江南市地域福祉活動計画策定部会 記録

日時 平成28年11月4日(金)

午後1時30分～

場所 市役所 3階 第3委員会室

出席者：脇田部会長、川田副部会長、岩根委員、加藤委員、佐橋委員、糸井委員、大森(美)委員、大森(恭)委員、大川内委員、松島委員、宮崎委員、宮本委員、伊藤委員
事務局：大池(福祉課)、土屋(ジャパン総研)、鈴木、間宮、岩永、田中、原田(社協)
欠席者：清水委員、原藤委員、永田委員、前川委員、福田委員

1. 江南市地域福祉の区域の考え方について

<説明：土屋(ジャパン総研)>

<意見・質問>

- ・中学校区の圏域について、小学校区を分断する際の問題点はないか。
→市の部会でも同様の意見があったが、現時点では拠点整備や組織化をする前提ではなく、圏域として地域課題の把握や整理の視点で考えている。
- 日常生活圏域(地域包括支援センター圏域)で中部包括支援センターは古知野中学校と北部中学校が重なっている。
- 実感としては小学校区かと思うが、現状を踏まえると中学校区が妥当と考える。
- 一部の区(例：前飛保区)は中学校区だと古知野中学校区と宮田中学校区に分かれるが、懇談会を実施するときの対応を考えておいたほうが良い。

<市の策定部会で出された意見の報告：大池(福祉課)>

2. 市民懇談会について

<説明：伊藤(社協)、土屋(ジャパン総研)>

<意見・質問>

- ・市民懇談会と地域福祉懇談会は別物なのか。
→同じ意味であるため、今後は混乱を避けるために「地域福祉懇談会」に統一していく。
- ・日程と会場が決まっているため、異なる中学校区での参加は可能か。
→参加拒否はしないが、中学校区圏域の地域課題についてワークショップを行うため、意見が反映されないことが想定される。
→基本的には参加者の中学校区圏域での参加をお願いしていく。
- ・ワークショップの手法は立場の異なる方々(市民、子ども会、老人クラブ等)との意見交換、集約ができるため期待できる。
- ・老人クラブや子ども会に依頼はしないのか。
→団体ヒアリングを行う予定なので、その際にでも案内はしていく。
- ・両日参加を求めるのか、どちらかの参加でも可とするのか。
→できれば両日参加をお願いしたいが、多くの方々の参加の場としたい。

→2回目のみ参加の場合があるので、オリエンテーション時に初回内容を含めた報告を行っていく。

- ・初回のワークショップ後に、中学校区ごとの設定をどう行うかが重要である。
 - ・地域福祉懇談会の一般公募の募集記事に工夫が必要（要望の場ではない）。
 - ・区長や民生委員に出す文書は、「開催します」というだけの内容なのか「開催するので参加してください」という内容なのかどちらか。
- 検討中。

（清水委員の意見について）

- ・出席された委員に資料配布し、事務局から説明
 - 言葉の使い方が統一されていないため、混乱が生じている部分については事務局で整理していく（例：市民懇談会と地域福祉懇談会）
 - 清水委員から示された考え方等については、事務局で検討

<市の策定部会で出された意見の報告：大池（福祉課）>

<事務局からのお願い>

- ・地域福祉懇談会は、初回の1月22日（日）は部会全委員の参加をお願いし、2回目（中学校区単位）は事務局が委員と担当地域や日程調整を行い決定します
- ・地域福祉懇談会の場で、部会委員は社協職員や行政の策定部会委員と一緒にグループでの取り回し（ファシリテーター）をお願いします

3. その他

- ・地域福祉計画策定会議を11月11日（金）に開催し、部会報告等を行う。
- ・第3回策定部会は、当初2月開催を予定していたが、1月中旬に実施予定とし、地域福祉懇談会の確認やアンケート集計結果報告を行う。

午後2時45分終了